

## 次代を担う子供達の育成について

(1)心を育む教育への取り組みは  
(2)御前崎市としての子供育成条例の制定を



柳澤重夫

**問** 大きな夢と希望を胸に未来に向け飛び立とうとしている子供達がいじめによって自ら命を断ってしまう。そこに至るまで

の子供達の心情を思う時どこかに救いの手を差し伸べる術はなかったのか悔やまれる訳ですが亡くなった命は再び蘇るものでもありません。

私は命の大切さや人々を思いやる心といったものは日頃から家族や友達同士、地域の人達、といったお互いに心から信じ合える、助け合える、そして人の暖かみをじかに感じることでできる、そんな環境の中から生まれてくるものではないかと思えます。

特に子供達には目に見えない内面的な部分である心を育む教育といったものが大切ではないかと思えますが教育長の考えは

御前崎市では平成18年度と19年度の2年間文部科学省より道徳教育の指定を受けてました。

この指定では生命を尊重する心や共感する心、思いやりの心等を育てる道徳教育の研究を行います。本年度は、白羽小学校を中心に児童、生徒の心に響く道徳の授業はどうあればよいのか研究を推進してきた。今後御前崎市の子供達に命の大切さや、思いやりの心を育む研究を更に進めたいと考えております。

**問** 御前崎市の子供達に命の大切さや、思いやりの心を育む研究を更に進めたいと考えております。

この指定では生命を尊重する心や共感する心、思いやりの心等を育てる道徳教育の研究を行います。本年度は、白羽小学校を中心に児童、生徒の心に響く道徳の授業はどうあればよいのか研究を推進してきた。今後御前崎市の子供達に命の大切さや、思いやりの心を育む研究を更に進めたいと考えております。

御前崎市の子供達に命の大切さや、思いやりの心を育む研究を更に進めたいと考えております。

御前崎市の子供達に命の大切さや、思いやりの心を育む研究を更に進めたいと考えております。

御前崎市の子供達に命の大切さや、思いやりの心を育む研究を更に進めたいと考えております。

地域に根ざした教育が各学校で展開されるよう願っている。来年度は「(仮称)子供達の笑顔がキラリ輝く会」を立ち上げ健全育成を図りたい。

**問** 今を生き未来を担う子供達を社会全体で育むという共通認識の下で、保護者も地域も、市民団体もそれぞれの果たす役割を明文化し御前崎市としての子供育成条例の制定を提案したいと思いがいかに考えるか

御前崎市の子供達を社会全体で育むことは大変重要なことである。現在その気運を高める為に様々な事業を展開している。その成果を見極めた上で今後御前崎市として条例制定が子供達の健全育成に必要であると判断した場合は前向きに検討したいと考えております。

御前崎市の子供達を社会全体で育むことは大変重要なことである。現在その気運を高める為に様々な事業を展開している。その成果を見極めた上で今後御前崎市として条例制定が子供達の健全育成に必要であると判断した場合は前向きに検討したいと考えております。

御前崎市の子供達を社会全体で育むことは大変重要なことである。現在その気運を高める為に様々な事業を展開している。その成果を見極めた上で今後御前崎市として条例制定が子供達の健全育成に必要であると判断した場合は前向きに検討したいと考えております。

御前崎市の子供達を社会全体で育むことは大変重要なことである。現在その気運を高める為に様々な事業を展開している。その成果を見極めた上で今後御前崎市として条例制定が子供達の健全育成に必要であると判断した場合は前向きに検討したいと考えております。

## 一般住宅火災警報器設置について



大澤満

**問** 消防法が平成16年第159回国会において一部改正され、平成16年6月2日に公布されました。この消防法の改正により、広域施設組合火災

予防条例が平成18年2月21日条例第1号として改正されました。改正趣旨は、近年建物火災による死者の90%が住宅火災によることが現実とのこと

です。全国では、住宅火災による死者が平成15年に1,000人を超えており、昨年は1,220人に急増しております。又総出火件数は57,460件で前年比4・8%減少しているものの、火災による全死者は2,195人で前年対比191人増加しています。出火原因の1位は「放火」ついで「コンロ」ついで「たばこ」だそうです。犠牲者のほぼ70%が火災

に気づかず、逃げ遅れが原因だそうです。火災発生を早く知らせる住宅用火災警報器の設置が犠牲者の低減につながることに期待されます。一般住宅には消防法の規制は無かったのが、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅には平成21年6月1日から設置の義務が適用されます。広報誌やケーブルテレビなどによりPRに努めているものの、市民には馴染みが薄い制度であり、まだまだ浸透されていないようです。特に心配されるのは、訪問販売で、高齢者や一人住まいの家庭に対する配慮をどのようにしているかです。今後も指導推進を継続的に進められると思いますが、市と消防署の連携をどのように図っていくのか

に気づかず、逃げ遅れが原因だそうです。火災発生を早く知らせる住宅用火災警報器の設置が犠牲者の低減につながることに期待されます。一般住宅には消防法の規制は無かったのが、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅には平成21年6月1日から設置の義務が適用されます。広報誌やケーブルテレビなどによりPRに努めているものの、市民には馴染みが薄い制度であり、まだまだ浸透されていないようです。特に心配されるのは、訪問販売で、高齢者や一人住まいの家庭に対する配慮をどのようにしているかです。今後も指導推進を継続的に進められると思いますが、市と消防署の連携をどのように図っていくのか

に気づかず、逃げ遅れが原因だそうです。火災発生を早く知らせる住宅用火災警報器の設置が犠牲者の低減につながることに期待されます。一般住宅には消防法の規制は無かったのが、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅には平成21年6月1日から設置の義務が適用されます。広報誌やケーブルテレビなどによりPRに努めているものの、市民には馴染みが薄い制度であり、まだまだ浸透されていないようです。特に心配されるのは、訪問販売で、高齢者や一人住まいの家庭に対する配慮をどのようにしているかです。今後も指導推進を継続的に進められると思いますが、市と消防署の連携をどのように図っていくのか

に気づかず、逃げ遅れが原因だそうです。火災発生を早く知らせる住宅用火災警報器の設置が犠牲者の低減につながることに期待されます。一般住宅には消防法の規制は無かったのが、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅には平成21年6月1日から設置の義務が適用されます。広報誌やケーブルテレビなどによりPRに努めているものの、市民には馴染みが薄い制度であり、まだまだ浸透されていないようです。特に心配されるのは、訪問販売で、高齢者や一人住まいの家庭に対する配慮をどのようにしているかです。今後も指導推進を継続的に進められると思いますが、市と消防署の連携をどのように図っていくのか

に気づかず、逃げ遅れが原因だそうです。火災発生を早く知らせる住宅用火災警報器の設置が犠牲者の低減につながることに期待されます。一般住宅には消防法の規制は無かったのが、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅には平成21年6月1日から設置の義務が適用されます。広報誌やケーブルテレビなどによりPRに努めているものの、市民には馴染みが薄い制度であり、まだまだ浸透されていないようです。特に心配されるのは、訪問販売で、高齢者や一人住まいの家庭に対する配慮をどのようにしているかです。今後も指導推進を継続的に進められると思いますが、市と消防署の連携をどのように図っていくのか

に気づかず、逃げ遅れが原因だそうです。火災発生を早く知らせる住宅用火災警報器の設置が犠牲者の低減につながることに期待されます。一般住宅には消防法の規制は無かったのが、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅には平成21年6月1日から設置の義務が適用されます。広報誌やケーブルテレビなどによりPRに努めているものの、市民には馴染みが薄い制度であり、まだまだ浸透されていないようです。特に心配されるのは、訪問販売で、高齢者や一人住まいの家庭に対する配慮をどのようにしているかです。今後も指導推進を継続的に進められると思いますが、市と消防署の連携をどのように図っていくのか

に気づかず、逃げ遅れが原因だそうです。火災発生を早く知らせる住宅用火災警報器の設置が犠牲者の低減につながることに期待されます。一般住宅には消防法の規制は無かったのが、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅には平成21年6月1日から設置の義務が適用されます。広報誌やケーブルテレビなどによりPRに努めているものの、市民には馴染みが薄い制度であり、まだまだ浸透されていないようです。特に心配されるのは、訪問販売で、高齢者や一人住まいの家庭に対する配慮をどのようにしているかです。今後も指導推進を継続的に進められると思いますが、市と消防署の連携をどのように図っていくのか



NS 消防法令適合品